

水問題への第一歩

奈良市立富雄第三中学校三年

大賀 芙季

様々なところで使用される水。私達の暮らしにも深く関わっています。例えば、お風呂や洗濯、トイレなど今の生活に欠かせない水。これらの水が今、世界中で深刻になっっていることを知っていますか。特に、アフガニスタンや、中央アフリカなどといった発展途上国では、安全で清潔な水を手に入れることが難しくなっていて、そのことが原因で多くの人が困っています。例えば水が足りないことで、健康に大きな影響を与えたり、汚れた不衛生な水を使うことで下痢症や井戸や池の水が汚染されて蔓延する、コレラに苦しみ多くの人々が命を落としています。

二〇一九年において世界人口の半数が水道を使えるようになったと言われていますが、未だに六億六千三百万人ものが、今も安心して飲める水を確保できていない状態で暮らして

います。彼らが飲み水などとして使用している水は飲用に適さない水源であり、その中には泥や細菌、動物の糞尿が混ざっており、不衛生どころか飲料水として使用することさえ危険なのです。

ではなぜそこまで水不足に陥るのだろうか。私は環境の視点から考えてみました。

「アフリカの地域では気候変動や干ばつの影響を受けやすい場所が多い。」

と社会の授業で聞いたことを思い出しました。このような環境の問題の他にも、インフラの整備が不十分、水質汚染などの点があります。発展途上国では、都市部と地方で水の供給に大きな差がある場合が多く、都市部では水道が整備されているところが多いが、地方ではそのインフラが整っていないことがよくあるそうです。また、工業や農業の排水、生活排水が適切に処理されないまま水源に流れ込んでしまったりするときにきれいな水を確保できず、汚染された水を、飲まなければなりません。さらに、発展途

上国では急速に人口が増えているところも多く、限られた水資源に対して需要がどんどん増えていく、これが原因で水の供給が追いつかなくなってしまうこともあります。

この水不足を少しでも解消するために、アフリカでは、農村地域に持続可能な井戸を設置したり、雨季だけに水が流れる、季節的な川にダムを建設して、雨季に水を貯めることで乾季でも安定した水源を確保できるようにしたりとたくさん取り組みが行われています。このような大規模な取り組みだけでなく、私達にもできることはたくさんあります。例えば、手を洗っている時や歯みがきをする際に必要な時以外は水を止めたりと無駄な水を出しっぱなしにしない意識を持ちましょう。

世界の水問題を解決するためには、当事者の人々だけが頑張るのではなく、私達一人ひとりが水を大切にする気持ちを持つことが大事だと思います。たったひとつの行動は小さくても、それがたくさん集まれば大きな力になるはず

です。また、水に困っている国があるということを知り、家族や友達に伝えたり、学校で話し合ったりすることも、立派な取り組みのひとつです。これからの未来を生きる私達が水についてもつとを考え、行動していくことが、世界の水問題を解決する一歩になると、私は信じています。